

麻生高校の生徒の皆さんへ ～ピンチをチャンスに変えて～

新年度が始まり1か月が経ちました。1年生には入学式で、2・3年生には放送による始業式で、校長からのメッセージを伝えましたが、その後、生徒の皆さんは、しっかりと家庭学習に取り組んでいるでしょうか。

コロナウイルスが猛威を振るい、国の緊急事態宣言が延長され、臨時休業が5月31日まで延長になりました。生徒の皆さんは、学校はいつ再開されるのか、学習はどうなるのか、学校行事は、部活動は、友達づくりは等、不安な毎日を送っていることと思います。校長先生も、この4月に着任し、生徒の皆さんの学習や行事、部活動の様子を見ることができず寂しい気持ちで一杯です。

新型コロナウイルス感染症の人類への影響は、われわれ人間にとっておおきな試練です。生徒の皆さんもこれまでに経験したことの無いピンチの真ただ中にいます。しかし、「ピンチは、その人を成長させる絶好のチャンスとなる」とあるように、毎日の家庭での時間を大切にし、この状況をチャンスに変えていかななくてはなりません。

まず、学習面です。現在、学校から課題を配信しています。また、動画授業の配信も予定しています。教室での授業では、先生が様々な声かけをしてくれますが、自宅では、誰も声をかけてくれません。自分自身で学習に取り組まなければいけません。校長先生は、これが本当の学習であると思っています。この臨時休業期間は「主体的に学ぶ」習慣を身につけるチャンスだと思っています。それをより可能にするのが、入学式、始業式でもお話しした具体的な「夢・目標」を持つということです。自分の「夢・目標」を持ち、毎日の目標を作ってみてください。例えば、自分の夢は「学校の先生」になることで「〇〇大学の教育学部」に合格することが目標であれば、今日は何をするべきなのかがおのずとわかるはずです。

「夢の実現は小さなステップの積み重ね」です。生徒の皆さんは、是非、1日1日の目標を決め、頑張ってください。

次に、メンタル面です。ずっと家にいるとストレスがたまってきます。学校に通っているときは、友達と会い、様々な話をして自然とストレスが発散できていた生徒も多かったのかと思います。この試練は、「友達の大切さを学ぶチャンス」でもあるかと思います。他者を思いやる気持ち、友人への感謝の気持ちを再確認するチャンスかもしれません。とは言うものの、ストレスはたまるものです。ストレスをためないためには、充実した毎日を送ることが大切です。規則正しい生活をして、学習、適度な運動、読書（お勧め）、友人との連絡等、自分なりの解消法を見つけてください。

今は自分の人生について考える大きなチャンスでもあります。自分の将来について考え、生きていることに感謝し、この状況の中で自分がやるべきことに集中してください。早く学校が再開され、元気な皆さんの姿が見られることを楽しみにしています。このピンチをチャンスの変え一緒に乗り越えましょう。

令和2年5月12日
校長 加藤 俊志